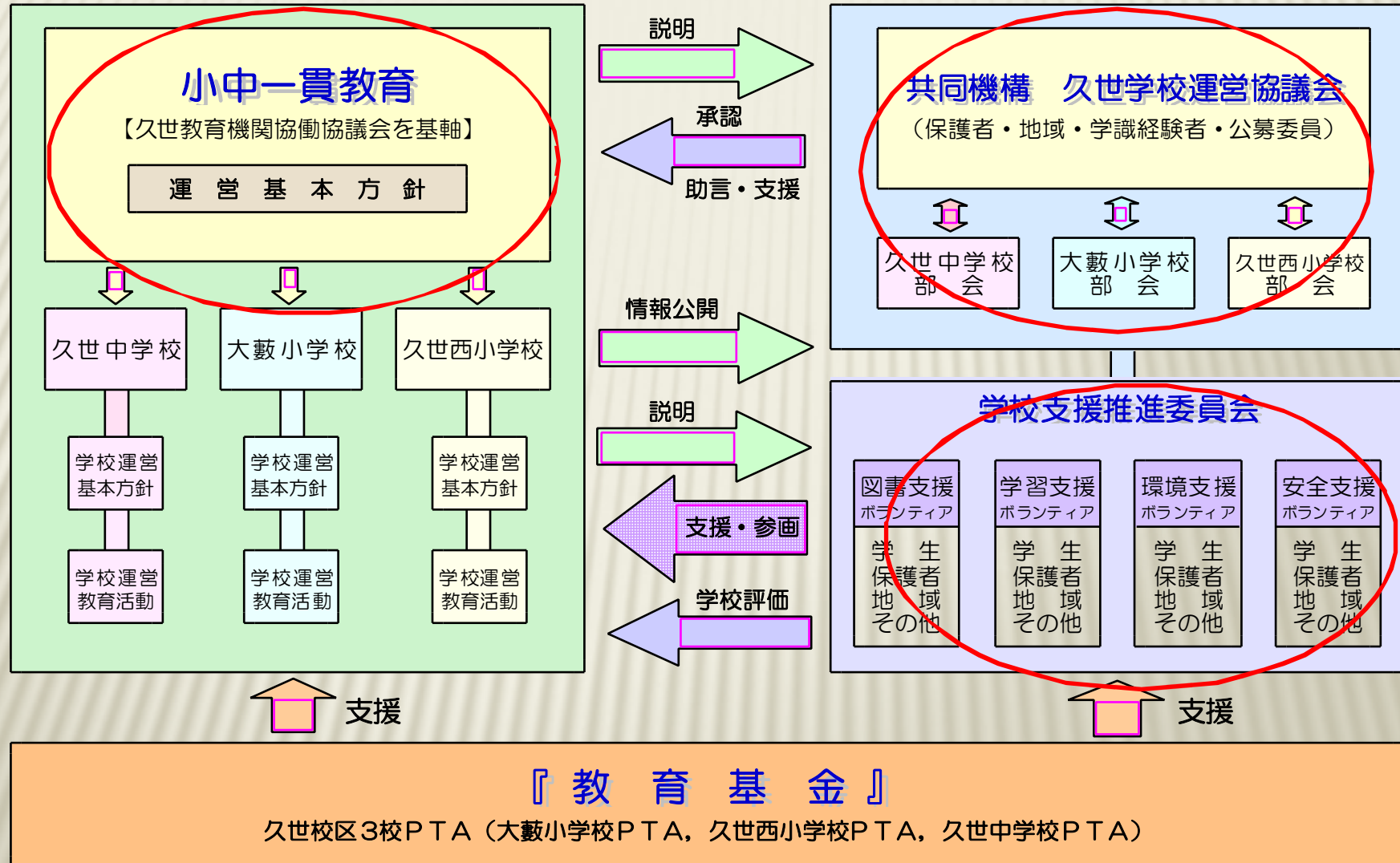


久世教育改革構想プラン



久世スタンダード

保護者

児童・生徒

教師

久世スタンダード（保護者版）

久世3校PTA本部役員会
 久世中学校PTA
 大瀬小学校PTA
 久世西小学校PTA

親在教育については、学校だけに任せるのではなく、「保護者・地域・学校が一体となって取り組む時代」と言われています。そのような中で、久世校区の3校（大瀬小学校、久世西小学校、久世中学校）は小中連携を通して、育ちの連続性を重視し、子どもの教育課題解決に向けて取り組まれています。その取組を聞いてみると、私たち保護者は教育についてもっと関心を持つべきだと反省させられました。そこで、私たち保護者が子育てを振り返り、私たちがすべきことを考えてみました。そして、久世スタンダードとして、各校本部役員会を調整し、教育について学校と協力していくために、「久世スタンダード（保護者版）」を作成しました。時代の流れを見つめながら、振り返り、私たちがしなければならないことを以下にまとめました。どうぞ皆様にご理解をいただき、親として、初めに読んでお読みいただき、実践していただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

子どもと共に過ごす時間

○ 家族団らんの時間を大切にしよう。

- ・ 肩を傾けて、（テレビは消して）子どもの話を聴けるように。
- ・ 頑張ったこと、良いことは褒めたり共感したりできるように。
- ・ 子どものサイン（怒り、悲しみ、喜びなど）を共感さないように。
- ・ 「前は子どものことを思っているからこそぞるんだよ」と教えるように。

○ 家族の一員としての役割場所をつくりましょう。

- ・ お手伝いなど家族の役割をもたせるように。
- ・ 子どもの良い意見は取り入れるように。



規範意識

○ 良いこと、悪いことをしっかりと教えましょう。

- ・ ダメなことはダメとしっかりと教えるように。
- ・ 悪いことは必ず返せるように。



○ お小遣いの使い方や、貸し借りのないよう教えましょう。

- ・ 家族の金銭管理もしっかりできるように。（小遣いをゆかに置かない）

○ 携帯、パソコン、iPadなどの使用ルールを決めましょう。

- ・ お粥に巻き込まれたり、依存症になったり、また加齢者にならないように。
- ・ フィルタリングなどセキュリティを強化するように。
- ・ 他人の情報は勝手に使わないように。

○ 社会モラルを《親子で》身につけましょう。

- ・ 乗り降りや車を渡る、ゴミを捨てない、騒がないように。
- ・ 自転車は二人乗り、後部乗込み、歩道の禁止や、左側通行などを守るように。

久世スタンダード（児童・生徒版）

1. 自分から元気においさつをしよう

2. 一生懸命勉強に取り組もう

3. 相手を思いやり、みんなで仲良くしよう

4. 周りの人に優しくしよう

5. 素直になろう

6. 協力し合おう

7. みんなで話し合って決めよう

8. 地域や学校のきまりを守ろう

9. 久世をきれいにしよう

10. 地域の行事に進んで参加しよう



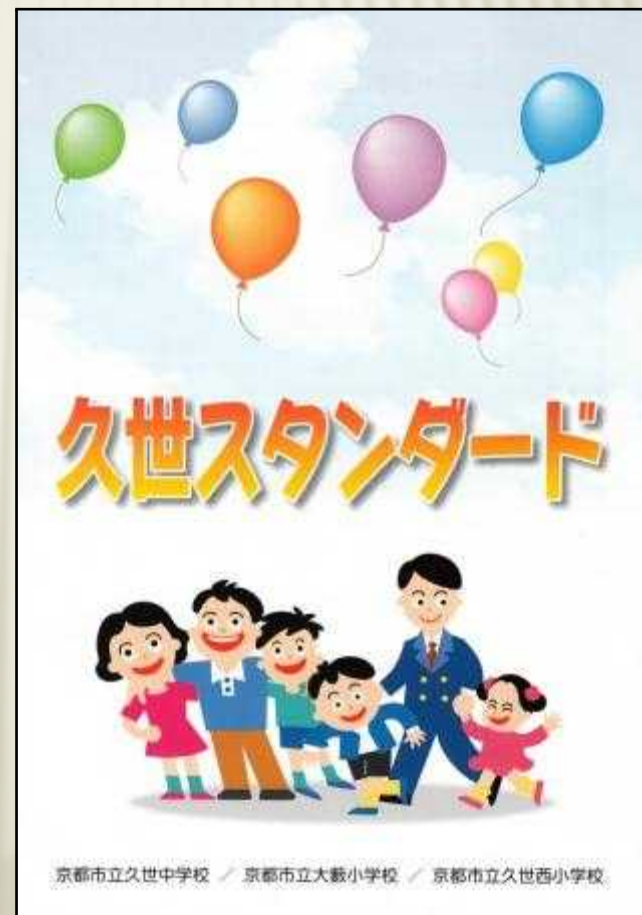
久世スタンダード（教師版）

コミュニケーション能力の育成（平成24年度 導入目標）		自己判断能力の育成
<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力が必要とされる場面を、自ら主体的に工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異文化理解できる授業ができる。 ○自分を取り組む力が発揮できる授業ができる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○目標に基づいた話し方を身に付ける。（場面に応じて使う） ○自分も相手も話しやすい授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行動を批判するのではなく、目標（ゴール）を達成させる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○「フーッ」と、感情の機嫌よく呼吸を合わせる。（呼吸を揃える） ○相手からの質問に答えられる。 ○相手の考えや意見が自分と同じ方向に導くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが自分の考えを表現するようになるように指導する。 ○子供達との関わりを深め、互いに助け合えるようにする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○毎時で話し、主題を深めたい時に15分程度話し、15分程度で話し終わる時間を区切る。 ○自分の思いや考えを正確に伝える。 ○人の話を最後まで聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1つの理由の1つの内容、2つ以上を挙げて説明する。（複数化） 	
コミュニケーション能力を高める		指示を適正化する
自分で考えて行動する子どもの育成		
目標設定を実行できる学習活動をする		ノートを活用する
<ul style="list-style-type: none"> ○1つでできると1つ始める。 ○みんなの前で始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1つの理由の1つの内容、2つ以上を挙げて説明する。 ○目標を達成し、達成したことを発表する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の目標（話し方や呼吸の仕方など）を達成する。 ○自分の目標を達成したことを、自分や他人の前で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習者の考えや意見を尊重し、1人1人の個性を伸ばす。 ○学習者の考えや意見を尊重し、1人1人の個性を伸ばす。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○目標（ゴール）に向かっていくなかで、具体的にタイムリーに促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キーワードを用いて自分の考えをまとめる。 ○自分で問題が解決するまでノートで考える。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○相手に合った目標設定の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら目標を立て、検証し、達成（改善）が得られるノートで考える。 	
自己有用感を高める	思考力の育成	

共同機構 久世PTA連合 組織編成



4. 成果と課題



成果と課題

(成果)

- ・教職員の意識変化
- ・中学校ブロックでの学校運営協議会設立
- ・行動指針としての久世スタンダード策定
- ・小中一貫した3校PTA組織と合同規約策定

(課題)

- ・課題の共有化(何のための小中一貫か)
- ・組織と会議の整理と統合
- ・学校運営協議会 推進委員会の活性化